# 川口市立医療センター広報紙

特集

2022.11.1 Vol.**58** 

当院の脳神経外科の紹介





川口市立医療センター 「みみたーズ」 "よく聴き・よく診で・よく説明する" 基本理念

市民に信頼され、 安全で質の高い医療を提供します

# 脳神経外科の紹介

脳神経外科 部長 古市 眞

脳神経外科で扱う主な病気には脳卒中、頭部外傷、脳 腫瘍などがあります。

#### 特徴

当科の特徴は、開頭手 術と血管内手術のどちら の治療も可能なことです。 5名の常勤医がおり、脳 神経外科指導医3名、脳 卒中指導医2名、脳神経



血管内治療指導医1名/専門医2名、脳卒中の外科技術 指導医1名、定位機能脳神経外科技術認定医1名など多 数の資格を有しています。

県内で8施設のみの脳神経血管内治療訓練施設に認定されており、最新の血管撮影装置を用いて血管内治療を行っています。2019年10月に24時間365日急性期脳卒中患者を受け入れる一次脳卒中センターに認定されており、今後さらにコア脳卒中センターに認定される予定です。

# 急性期脳梗塞の治療

脳卒中は急に半身麻痺や呂律障害、歩行障害が発症して救急対応を要する病気です。

発症から4.5時間以内であれば、詰まった血栓を溶かす薬 (t-PA) を点滴注射することが可能です。症状の改善が認められない場合や、この薬の適応外の場合で脳梗塞が完成する前であれば、血栓を回収する特殊なカテーテルを用いた血管内治療を行います。この治療法は、脳卒中治療ガイドライン2021では発症から16時間までは推奨度合いがグレードA (行うことを強く勧められる) とされて

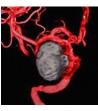
おり、限られた時間と施設でのみ治療が可能です。

また、脳梗塞患者を迅速に搬送するため、2018年に埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク (SSN) が開始されました。 当院は基幹病院に認定されており血行再建治療件数が年々増加しています。

# 脳動脈瘤の治療

脳動脈瘤に対する治療には、開頭して顕微鏡下でクリッピングする (クリップではさみ、破裂や出血を止める) 方法と、血管内からカテーテルを通して動脈瘤内にコイルを詰める血管内治療があります。低侵襲 (体への負担が少ない) で入院期間が短い脳血管内治療を第一選択として行っています。また、今までは治療が困難であった大型動脈瘤に対してもフローダイバーター (メッシュ状の金属の筒) を用いた新しい治療が行えるようになりました。

脳動脈瘤に対するステント併用コイル 寒栓術



フローダイバーターを用いた 治療





# 頚部内頚動脈狭窄症の治療

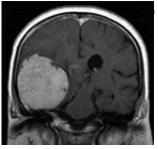
動脈硬化により内頚動脈が狭窄すると脳虚血症状や脳梗塞が生じることがあります。バルーンカテーテルと金属製のステントを狭くなった血管に入れて拡げる頚動脈ステント留置術を行うことで将来の脳梗塞を予防します。

### 脳腫瘍の集学的治療

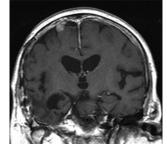
頭痛、嘔吐、けいれん発作、半身麻痺などの症状や脳ドックで脳腫瘍が見つかることがあります。良性腫瘍の場合は外科的に全摘出を行って改善することが可能です。しかし悪性腫瘍の場合は他の臓器と違い、正常脳を含めて全摘出するこ

とは困難です。手術によって病理診断を行い、適切な放射線治療や化学療法(テモゾロミドの内服薬)を行うことで、増大を抑制して有意義な生存期間を延ばすことができます。当院には放射線治療専門医と化学療法専門医がおりますので集学的な治療を行うことが可能です。

良性脳腫瘍 (髄膜腫) 術前



術後



#### 慢性硬膜下血腫の治療

慢性硬膜下血腫とは、軽い頭部外傷の後から1~2ヶ月かけて、頭蓋骨と脳との隙間にゆっくりと血液が溜まる病気です。溜まった血腫が脳を圧迫してくると、頭痛、物忘れ、尿失禁、歩行障害などの症状が徐々に現れてきます。高齢者に多いため認知症の進行と間違えられることがあります。この疾患には、局所麻酔で頭蓋骨に小さな穴をあけて血液を洗い流す。算質ドレナージ術を実施します。脳への圧迫が取れることで症状は劇的に改善し、約5日間で退院することが可能です。

# 外来

当院は、紹介患者と救急患者を受け入れています。紹介の場合は、かかりつけ医より患者支援センターを通して予約が可能です。脳卒中は緊急疾患ですので、半身麻痺、呂律障害などの神経症状が出た際には直ちに救急車を要請してください(タイム・イズ・ブレイン)。救急隊が発症から7時間以内と判断したら、SSNホットラインにより治療可能な直近の病院に救急搬送します。

# 安全・安心な入院生活を送っていただくために

当院では、入院される患者さんが安心して医療を受けられるよう、病院全体で安全管理に取り組んでおります。 患者さんとご家族のみなさまのご理解、ご協力をお 願いいたします。

#### ●お名前の確認について

患者さんの間違いを防ぐため、診療・ 検査・注射・手術等さまざまな場面で、 お名前をフルネーム(姓名)で名乗って



いただいております。また、併せて「患者認識用リストバンド」によりお名前の確認をさせていただいております。

#### ●入院中の履き物について

入院中は病状や治療の影響で、普段より転びやすくなる方が多く、スリッパやサンダルは滑って危険です。 転倒を防止するために、普段履き慣れた、足をしっかり支えてくれる運動靴等をご用意下さい。

#### ●現金・貴重品について

多額の現金や貴重品はお持ちにならないでください。 やむを得ず持参する場合は、必ずセーフティボックスを ご利用ください。

万一紛失等が起こりましても当院では一切責任を負いかねます。

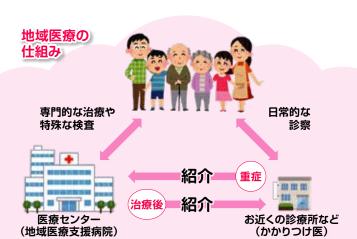
# ●手術が決まったら歯科へ行きましょう

手術と何の関係があるの?と思われがちですが、がんや心疾患など大きな手術の後は、身体の免疫力が低下して、



お口の細菌が原因となり感染症を引き起こすことがあります。手術は無事に終わったけれど肺炎を起こしてしまった、入院中に歯が抜けて入れ歯が合わなくなってしまった、といったトラブルにならないよう、事前の歯科受診をお勧めします。

入院生活について、ご不明な点やお困りのことがある 場合は、ご遠慮なく職員にお尋ねください。





#### バス案内(国際興業バス)

川口駅東口(8番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行西川口駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

蕨駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行 赤羽駅東口(6番)発

新井宿駅経由 川口市立医療センター行

循環バス(川口市コミュニティバス) みんななかまバス 埼玉高速鉄道をご利用の方は

埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩10分

#### 駐車場のご案内

**駐車料金** 4時間まで200円(その後1時間ごとに100円) 総合受付の「5」会計受付にてパーキングカードを販売しております。 (1,000円券・3,000円券)

駐車台数 約600台収容

発行責任者 川口市立医療センター 大塚 正彦編 集 広報委員会

ホームページ

回水回

〒333-0833 川口市西新井宿180 ☎048-287-2525(代表)